



2024年3月27日

各 位

会 社 名 東北特殊鋼株式会社
代 表 者 代表取締役社長 成瀬 真司
(コード番号 5484)
問 合 せ 先 総務人事部長 高橋 隆行
(TEL 0224-82-1010)

特別損益の計上および個別業績見込み、ならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期連結会計期間において特別損益を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、個別業績につきましては開示しておりませんでしたが、特別損益の計上に伴い前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせするとともに、2023年5月11日に公表した連結業績予想を修正することとしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損益の計上について

(1) 特別利益（投資有価証券売却益）

当社は、政策保有株式として保有する上場株式について、コーポレートガバナンス・コードに基づき中長期的な経済合理性や保有先との関係性を踏まえ、毎年取締役会で保有の適否を検証しており、本日開催の取締役会において保有継続の妥当性が認められない上場株式を売却することを決議いたしました。これに伴い、投資有価証券売却益約380百万円（うち、222百万円は第3四半期連結累計期間に計上済み）を特別利益として計上する見込みであります。

(2) 特別損失（固定資産の減損損失）

特殊鋼セグメントに含まれる精密加工事業は、自動車産業における長引く在庫調整や半導体市場の減速による売上減少に加え、原材料価格や電力費等の製造原価上昇分の全てを販売価格に転嫁できておらず、収益性が低下しております。このため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来収益を保守的に検討した結果、同事業に係る固定資産について減損損失約540百万円を特別損失として計上する見込みであります。

2. 個別業績見込みについて

(1) 2024年3月期通期個別業績見込み（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	17,484	569	736	652	86.64
当期実績見込み(B)	17,200	400	580	280	37.19
増減額(B-A)	△284	△169	△156	△372	—
増減率(%)	△1.6	△29.8	△21.3	△57.1	—

(2) 通期個別業績見込みと前期実績との差異理由

売上高は、概ね前期実績並みとなる見通しであります。

営業利益および経常利益は、原材料価格や電力費等の製造原価上昇分の全てを販売価格に転嫁できていないことから、前年実績を下回る見通しであります。

当期純利益は、「1. 特別損益の計上について」に記載の特別損失（固定資産の減損損失）の計上等により、前期実績を大きく下回る見通しであります。

3. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,300	百万円 960	百万円 1,050	百万円 750	円 銭 99.62
今回修正予想(B)	21,400	1,100	1,200	770	102.27
増減額(B-A)	△900	140	150	20	—
増減率(%)	△4.0	14.6	14.3	2.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	21,557	1,297	1,424	1,118	148.53

(2) 修正の理由

売上高は、概ね前回予想のとおりとなる見通しであります。

営業利益および経常利益は、各種改善活動実施の効果により前回予想を上回る見通しであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、「1. 特別損益の計上について」に記載の特別損失（固定資産の減損損失）の計上があるものの、「1. 特別損益の計上について」に記載の特別利益（投資有価証券売却益）の計上等により概ね前回予想のとおりとなる見通しであります。

(注) 上記の予想数値につきましては、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上